

V. 地区会活動報告

中国四国地区会

(1) 第 63 回中国四国地区大会 (2019 年 5 月 11, 12 日, 於: 広島大学東広島キャンパス)

【ポスター発表】(5 月 11 日)

「鳥取県東部におけるマダニ類の発消長および吸血源」柴田祥明¹, 山内健生², ○唐沢重考² (1 鳥取大・地域, 2 兵庫人と自然の博物館, 3 鳥取大・農)

「絶滅危惧種コブシアナジャコの巣穴構造」邊見由美^{1,3}, 小田和実², ○伊谷 行^{1,2} (1 高知大・院・黒潮, 2 高知大・教, 3 京大・フィールド研・舞鶴)

「広島県安芸太田町深入山における希少チョウ類の生息状況」本宮芳太郎¹・上手新一², 松田 賢², ○上野吉雄², 岩見潤治², 本宮宏美¹, 中村康弘³ (1 NPO 法人三段峡・太田川流域研究会, 2 NPO 法人西中国山地自然史研究会, 3 NPO 法日本チョウ類保全協会)

「オキトンボ卵の孵化に及ぼす乾燥条件影響 (予報)」○村上 裕, 久松定智 (愛媛県生物多様性センター)

「マゴコロガイ *Peregrinamor ohshimai* に真心なし: 宿主のヨコヤアナジャコ *Upogebia yokoyai* の成長と繁殖に与える影響」○村上瑠菜¹, 佐藤あゆみ¹, 梶原 薫¹, 樫葉顕信¹, 吉田祐侑², 伊谷 行^{1,2} (1 高知大・院・教育, 2 高知大・教育)

「干満を通して見たテッポウエビとツマグロスジハゼの条件的共生の利害関係」○桐原聡太¹, 邊見由美^{1,2}, 伊谷 行¹ (1 高知大・院・黒潮, 2 京都大・フィールド研)

「暖温帯の天然林における維管束着生植物のホスト樹木サイズ選好性と空間分布」○瀬戸美文¹, 比嘉基紀², 石川慎吾² (1 高知大・理, 2 高知大・理)

「鳥取県域における堅果類 4 種の結実同調性」西垣詩歩¹, ○永松 大² (1 鳥取大・地域, 2 鳥取大・農)

「広島県産ブナ科常緑樹のどんぐりの形態変異 (予報)」○小山克輝¹, 紙本由佳理², 中原-坪田美保³, 坪田博美² (1 広島大・理, 2 広島大・院・統合生命・宮島自然植物実験所, 3 千葉中央博・共同研究員)

「環境要因の異なるスギ人工林における下層植生の分布」○西岡悠馬, 永松 大 (鳥取大・院・農)

「高知県中部の里地における草原生植物普通種の多様性比較」○大利卓海¹, 比嘉基紀², 石川慎吾 (1 高知大・院・理, 2 高知大・理)

「四国におけるカシノナガキクイムによる常緑広葉樹の枯損」○佐藤重穂¹, 長谷川元洋², 米田令仁¹ (1 森林総研・四国, 2 同志社大・理工)

「広島県内における干潟環境の多様性がベントスの種組成に与える影響」○奥迫 優, 岡浩平 (広島工業大学大学院・工学系研究科)

「以西用水における魚類の生息場改善」○桑名 志¹, 河口洋一² (1 徳島大院・工, 2 徳島大院)

「立ち入り規制のはじまった鳥取砂丘オアシス周辺のエリザハンミョウ個体群のさらなる縮小」○鶴崎展巨 (鳥取大・農)

「那賀川における長安ロダム下流への置土が砂州の陸生節足動物に及ぼす影響」○中西淳¹, 藪原佑樹², 河口洋一² (1 徳島大院・工, 2 徳島大院)

「家畜による被食がモンゴル草原に生育する植物のサドトラップ能力に与える影響」○嵯峨山 透子¹, 劉 佳啓², 木村玲二², ○衣笠利彦¹ (1 鳥大・農, 2 鳥大・乾燥地研)

「維管束植物相からみた広島県椋梨川のオオサンショウウオ幼生息地の環境」後藤理史¹, 池田誠慈², 塩路恒生³, 武内一恵⁴, 清水則雄², ○坪田博美¹ (1 広島大・院・統合生命, 2 広島大・総合博物館, 3 広島大・技術センター, 4 広島市)

「魚類絶対寄生性を有するウオノエ科タイノエ (*Ceratomyxa verrucosa*) のミトコンドリアゲノム解析」○大西満希・畑 啓生 (愛媛大・院・理工・環境機能)

「沖縄県におけるなわばり性藻食スズメダイがサンゴと藻類群落との競争に与える影響」○高野翔太・畑 啓生 (愛媛大・院・理工・環境機能)

【口頭発表】（5月12日）

「小規模河川における塩生植物ウラギク保全のための基礎的研究」○岡 浩平¹，二神良太²，長田美保³（¹広島工大・環，²復建調査設計，³タカヤマシード）

「日長と養分環境に応答した雄性両全性同株ケツユクサの花の性制御」○宮崎祐子¹，佐藤弘大¹，井上智美²，赤路康朗²，勝原光希³，邑上夏菜³，丑丸敦史³（¹岡山大・院・環境生命，²国立環境研究所，³神戸大・院・人間発達環境）

「スギ人工林の葉量推定におけるパイプモデルの適用」○稲垣善之¹，中西麻美²（¹森林総研四国，²京都大・フィールド研）

「徳島県黒沢湿原における植物群落と絶滅危惧植物の分布」○鎌田磨人¹，松尾征紀²，飯山直樹³（¹徳島大・社会産業理工，²徳島大・工・建設，³徳島大・環境防災研究センター）

「Google の画像を用いた香川県東部における竹林の開花・枯死・衰退の解析」○河合洋人^{1,2}，小林 剛²，小林慧人³（¹どんぐりネットワーク，²香大・農，³京大・農・院）

「近年の西日本で見られるタケ類の開花現象と今後の大規模開花へ向けた取り組み」○小林剛¹，小林慧人²，河合洋人¹（¹香大・農，²京大・農）

「西日本豪雨災害の東広島市椋梨川オオサンショウウオ個体群への影響」○清水則雄¹，土岡健太²，桑原一司³（¹広島大・総合博物館，²東広島オオサンショウウオの会，³日本オオサンショウウオの会）

「岡山県におけるミシシippアカミミガメによる植物食害について」○山地優奈¹，矢野興一¹（¹岡山理大・院・生物地球）

「徳島県・伊島におけるササユリの生育環境推定に基づく保全再生方針の提案」○名田雄一¹，飯山直樹²，鎌田磨人³（徳島大¹院・工，²環境防災研，³社会産業理工）

「福岡県宗像市における海岸マツ林の保全活動の構造と仕組み」○朝波史香¹，伊東啓太郎²，鎌田磨人³（¹徳島大・院・先端技術科学，²九州工大・建設社会工，³徳島大社会産業理工）

「環境保全に取り組む市民団体の現状と再編」○白川勝信¹，志賀誠治²（¹高原の自然館，²ひろしま自然学校）

【高校生研究発表】（5月11日）

【公開講演会】（5月11日）

バイオリソースの現状と未来－貴重な生物材料を広島から世界へ－

（世話人：浮穴和義（広島大学・院・統合生命），守口和基（広島大学・院・統合生命），渡邊（大竹）園子（広島大学・院・国際協力））

「広島大学植物標本庫，歴史を紡いで90年－特色ある標本庫，コケの研究とその資産」出口博則（服部植物研究所・（株）建設環境研究所・広島大学総合博物館）

「キク属モデル系統の開発と分子遺伝学的多様性研究への基盤」草場 信（広島大学大学院統合生命科学研究所附属植物遺伝子保管実験施設）

「ネットアイツメガエルバイオリソースの展開とその進化発生研究への応用」荻野 肇（広島大学両生類研究センター）

【総会】（5月12日）

a. 報告事項

庶務報告

学会誌発行部数，地区会員の動向（2018年12月末現在244名，昨年度から9名減），会費納入率，活動報告について

地区選出委員（地区代議員，自然保護委員）から報告

2021年度全国大会開催の準備状況（宮崎岡山県幹事から報告）

地域シンポジウム等補助金について（唐沢庶務幹事から報告）

その他

昨年提出した高知県風力発電建設に関する要望書についての経過報告がなされた。

b. 審議事項

1) 2018年度会計決算案

- ・笠木会計幹事から説明があり，承認された。

2) 2019年度会計予算案

- ・笠木会計幹事から説明があり，承認された。

3) 次期会長について

- ・永松現会長の再任を承認した。

4) 次期県幹事について

- ・12月末までに決定することを確認した。

5) 2020年度合同支部大会開催地：香川県（5月16-17，もしくは，23-24日）

6) 2020年度合同支部大会開催地：島根県